



平成 30 年 6 月 13 日

**「解体された被爆建物の鉄骨と壁面破片」の展示会を開催
-展示会初日は学生による説明会を実施-**

日 時：6月21日～8月30日

場 所：広島大学霞キャンパス 医学資料館1階ロビー

「解体された被爆建物の鉄骨と壁面破片」について展示会および説明会を、下記のとおり行いますのでご案内します。

昭和18年に建てられたとされる被爆建物の E.R.E 宇品御幸ビルは、被爆建物老朽化により維持が困難になってきたため、今年2月に解体されました。当展示会は、被爆建物の記憶の継承および被爆建物に対する多角的な視点からの理解の促進を目的として、解体された被爆建物である E.R.E 宇品御幸ビル（旧中国配電南部変電所）の破片を展示するものです。

当展示会は、広島大学総合科学研究科博士課程前期2年の湯浅梨奈が企画し、展示会の初日には湯浅さんによる説明会も実施します。E.R.E 宇品御幸ビルの管理者（現在は解体後で跡地）である株式会社フリートご担当、広島市国際平和推進部平和推進課の被爆建物管理ご担当、破片の保管者である広島大学原爆瓦発送之会の嘉陽礼文会長に取材を実施し、被爆建物に対する想い、保存の課題や今後のための工夫点など取材結果を解説します。

記

【展示会】

日 時：6月21日（木）～8月30日（木）

※ 展示会初日は、以下のとおり、湯浅梨奈による説明会を実施

場 所：広島市南区霞 1-2-3 広島大学医学資料館1階ロビー

【説明会】

説明会日時：6月21日（木） 13:00～14:00

集合場所：広島大学医学資料館1階ロビー

説明者：広島大学総合科学研究科博士過程前期2年 湯浅 梨奈

内 容：考案に至った背景、E.R.E 宇品御幸ビルの歴史、解体作業を実施した不動産会社へのインタビュー、広島市へのインタビュー、破片保管者へのインタビュー結果を解説。

【写真資料】（写真提供：嘉陽礼文）



採取された鉄骨（展示します）
丸鋼（細）直径 8mm
丸鋼（太）直径 22mm ※異形鉄筋ではない



採取された壁面（熱線を浴びた建物西側の壁面）（展示します）
【アスベストは不使用（調査済み）】



E.R.E 宇品御幸ビル解体前の全貌
（平成 30 年 2 月 3 日撮影, 解体のための足場が組んである状態）



E.R.E 宇品御幸ビル解体中の様子
（平成 30 年 2 月 8 日撮影）



解体中に現れた大量の鉄骨



西側の壁面内から現れたレンガ（展示します）

【資料】

建物詳細

名称 : E.R.E 宇品御幸ビル（旧中国配電南部変電所）
爆心地から : 3.79 キロメートル
所在地 : 南区宇品御幸三丁目 17 番 7 号（宇品町）
竣工時期 : 1943（昭和 18）年 2 月

製造／階数 : 鉄筋コンクリート造／2階建

設計者／施工者 : 不明

(参考資料 : 「ヒロシマの被爆建造物は語る」 1996年 広島市)

【お問い合わせ先】

広島大学 総合科学研究科 湯浅梨奈
Mail:m173714@hiroshima-u.ac.jp

※学生のため、お問い合わせ先はメールのみとなります。予めご了承ください。

発信枚数 : A4版 3枚 (本票含む)

(別紙)

【FAX返信用紙】

FAX : 082-424-6040

広島大学財務・総務室広報部 広報グループ 行

「解体された被爆建物の鉄骨と壁面破片」の展示会を開催
-展示会初日は学生による説明会を実施-

説明会日時 : 6月21日(木) 13:00~14:00

集合場所 : 広島大学医学資料館1階ロビー

ご出席

ご欠席

貴社名 _____

部署名 _____

ご芳名 _____ (計 名)

電話番号 _____

誠に恐れ入りますが、上記にご記入頂き、6月20日(水)12:00まで
にご連絡願います。